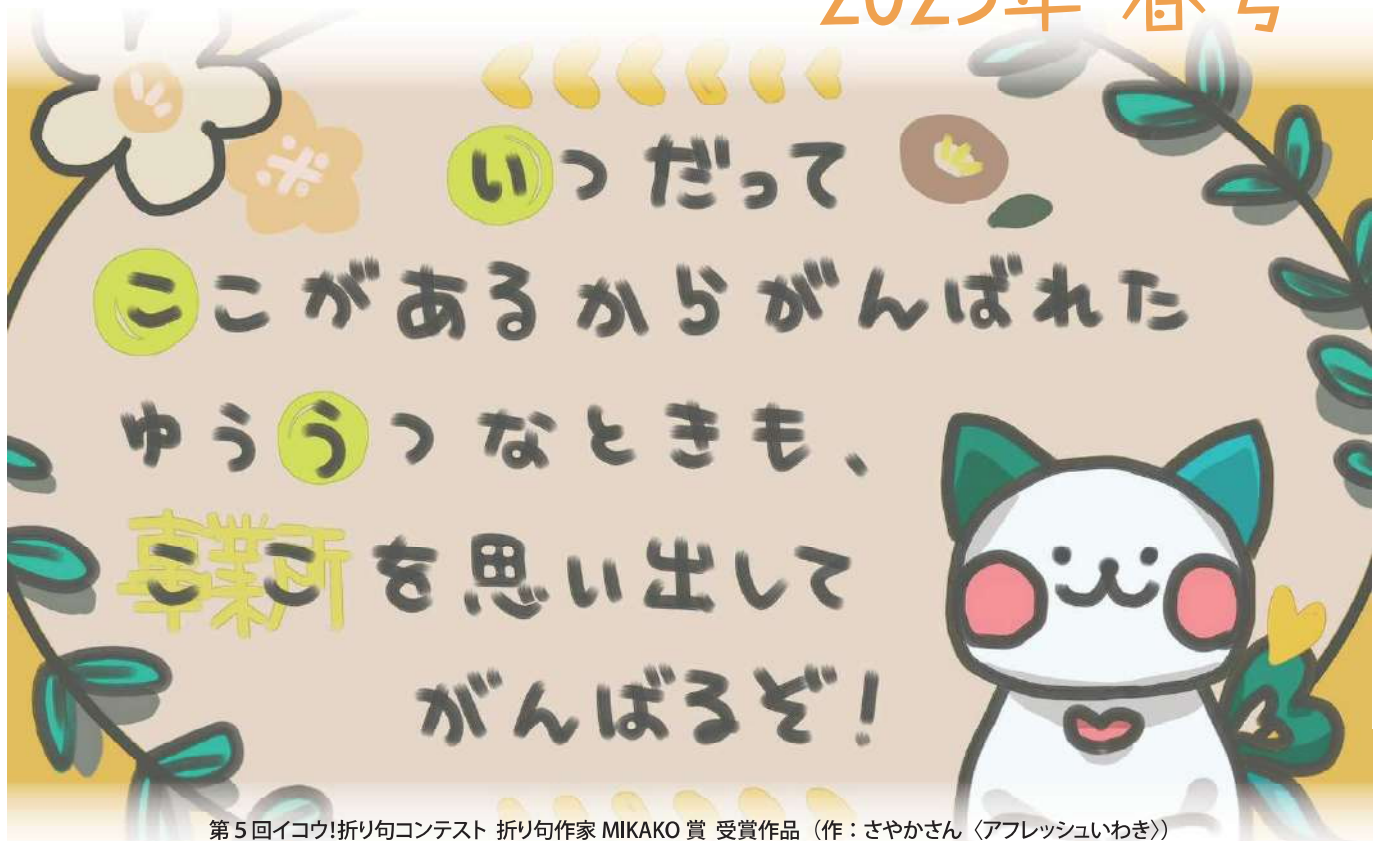


ココロやカラダにお悩み・不安のある方の長期就労を応援する情報誌『イコウ』

# イコウ IKOU!

2025年 春号



第5回イコウ!折り句コンテスト 折り句作家 MIKAKO 賞 受賞作品 (作: さやかさん <アフレッシュいわき>)

## 【巻頭特集】

### 対話を通じて築き上げるチャレンジングな明日

東京海上ホールディングス特例子会社

東京海上ビジネスサポート株式会社 企業訪問インタビュー

### 就労支援の「人」

横浜市立大学 都市社会文化研究科

教授 影山摩子弥先生

### 当機構加盟事業所が映画に登場

映画『星より静かに』ーにじ鶴見

### 第5回折り句コンテスト結果発表



一般社団法人社会福祉支援研究機構

# 対話を通じて築き上げる チャレンジングな明日

東京海上ホールディングス特例子会社<sup>※</sup>  
東京海上ビジネスサポート株式会社  
企業訪問インタビュー

※企業が障がい者の雇用を促進する目的でつくる子会社のこと。

1879（明治12）年の創業、日本初の損害保険会社である東京海上保険会社を母体とし、現在では世界中に展開して幅広い分野での保険商品・サービスを展開している東京海上ホールディングス株式会社。損害保険総合グループ企業として世界でも有数の規模を誇る東京海上グループの特例子会社である東京海上ビジネスサポート株式会社（以下、TMB）は損害保険業界初の特例子会社として設立されました。障がいのある社員を「チャレンジサポーター」と呼び、その日々の挑戦を応援しているTMB。同社には障がい者雇用に対してどのような想いがあり、またその想いを具現化しているのでしょうか。取締役社長の伊藤直哉氏と取締役／人材活躍推進部長の伊原裕氏にお話しをお伺いしましたので、その内容をインタビュー形式で紹介いたします。

## 社名の由来を教えてください。

当社の経営理念の第一に、「支援される立場から支援する組織へ」と掲げています。一般的に支援を受ける立場とされる障がいのある社員が「東京海上グループを自分たちが支援するんだ」という社員

一人ひとりの想いが込められています。なお、当社では社員を「サポーター」と呼び、支援スタッフである「ジョブサポーター」の支援体制のもとで働いている社員を「挑戦」という意味を込めて「チャレンジサポーター」と呼んでいます。

## 設立時の想いを教えてください。

当社は、東京海上グループとして「障がい者への就業機会を広く提供し、多様な人材がイキイキと働いている企業グループへ」というビジョンのもと設立されましたが、その特徴の一つとしては、知的・精神・発達障がいの社員が中心である、ということがあります。設立時にさかのぼると、この障がい種別の方々は就労環境に恵まれていなかったということがあり、知的・精神・発達障がいのある方々の雇用機会の創出の必要性を感じていました。

## 参考

■社員：401名↓うちチャレンジサポーター244名・トライアル雇用を含む

■チャレンジサポーターの障がい種別：身体↓2名／知的↓101名／精神（ほとんどの方が発達障がい）↓141名

## 東京海上ホールディングス株式会社について

- 所在地（本社）：東京都千代田区大手町二丁目6番4号
- 創業（東京海上保険会社）：1879年（明治12年）
- 資本金：1,500億円（2023年3月31日時点）
- グループ会社数：268社（2024年時点）
- 従業員数（東京海上グループ）：約43,000人（2023年3月31日時点）
- 海外ネットワーク（東京海上グループ）：46の国・地域（2024年時点）



<https://www.tokiomarinehd.com/>



● 東京海上ビジネスサポート(株) 取締役社長 伊藤直哉氏 (左)  
 ● 東京海上ビジネスサポート(株) 取締役/人材活躍推進部長 伊原裕氏 (右)

東京海上ビジネスサポートの経営理念

01 Support

支援される立場から支援する組織へ

自らの努力と意欲で高い品質のサービス・商品を提供し、東京海上グループの発展をサポートします。

02 Dream

夢と誇りを持てる会社へ

感謝と思いやりの気持ちを忘れず、仕事を通して一人ひとりが成長できる会社を目指します。

03 Active

活躍できる機会の拡大へ

社員が活躍できる場を広げ、明るく元気に働く仲間をふやしていきます。

東京海上グループを自分たちが支援

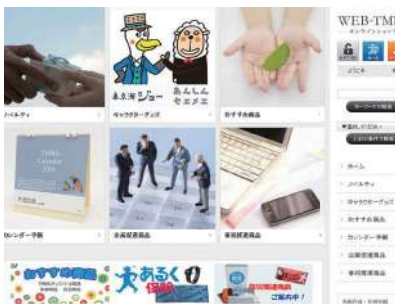


データ入力業務

達障がいのある社員およびその  
 ジョブサポーターで構成されてお  
 り、グループ各社からの業務依頼

● 業務支援部

チャレンジサポーターの皆さまの  
 業務内容について教えてください。



ノベルティグッズなどを販売している  
 オンラインショップ

に貢献できる商品の取り扱いにも  
 積極的挑戦しています。また、グル  
 ープ各社からの通勤用交通費の申請  
 受付などを行っています。

● ビジネスサービス部

に対して質の高いサービスを提供し  
 ています。

チャレンジサポーターとして求める人材像

■ 健康で働く意欲の高い人

- 働く意欲がある
- 向上する意欲がある
- 辛抱強く同じ作業ができる

■ 社会人としてのマナーが守れる人

- 挨拶・報告・連絡・相談・質問ができる
- ルールや時間を守ることができる

■ 人間関係を大切にできる人

- 人の意見を受け入れる素直さがある
- 周囲との協調・御礼・謝罪ができる

■ 日常生活管理が(周囲の協力を得ながら)できる人

- 生活習慣を整えることができる
- 就労支援機関のサポートがある



# 支援スタッフのフォローアップも大きなテーマとして

ノベルティグッズでいえば、当社のチャレンジサポーターの書いた絵を採用しているカレンダーがあります。なお、こちらに絵を採用した方には、少額ではありますが、著作使用料もお支払いしています。



チャレンジサポーターのイラストが採用されたカレンダー

**●物流部**  
東京海上グループに流通する使便の仕分・発送・館内デリバリー及び郵便物（書留含）の受発送を行っています。日本国内だけでなく、海外駐在員にも週一回書類を発送しています。また、機密文書のシユレツダーを活用しての回収廃棄業務や会議室・備品の予約・管理・設置など会議開催のためのサポートなども行っています。



館内デリバリー・仕分け

**●印刷文書部**  
印刷文書部は、帳票印刷発注窓口文書保存箱の管理を行う「帳票・文書管理グループ」と各種印刷物の作成や発送を行う「印刷グループ」に分かれています。共に重要な書類を取り扱うので、常にセキュリティとコンプライアンスを重視した運営体制を整えています。



グループ社印の名刺印刷

## ●今後の事業展開について

もちろん、社員のさらなる活躍のフィールドを広げるべく、グループ会社に新規業務受注のための情報提供を継続しています。当社の実績や社員について知ってもらうことで、安心して業務を発注してもらえたらと思います。また、東京海上ビル本館建替え（2028年竣工）を新たなビジネスチャンスと捉え、様々な業務受託の可能性を検討しています。

## ●社員の方々に対するフォローアップ体制について教えてください。

### ●合理的配慮手続記録シート

チャレンジサポーターは「合理的配慮手続記録シート」を作成しています。これには各人の障がい種別や仕事内容、勤務条件、配慮内容などが明記されており、組織的に的確な合理的配慮ができるようになっていきます。このシートは「採用前」と「採用後」に分けて制作されており、一人ひとりに対する理解をより深めると共に、採用してからのミスマッチの防止などにも寄与しています。また、仮にジョブサポーター

が変更になったとしても、このシートを参照すればスムーズに引き継ぎができます。もちろん、チャレンジサポーターの長期定着にもつながると考えています。

### ●カウンセリング体制

チャレンジサポーターとジョブサポーターを対象とした「訪問カウンセリング」があります。職場やプライベートで抱えている対人関係やコミュニケーションなど、さまざまな悩みに対してグループ会社に所属する臨床心理士・精神保健福祉士によるカウンセリングを受けることができます。また、「社内カウンセリングチーム」の配置やメール相談・電話相談・対面相談が受けられる体制も整えています。

### ●ジョブサポーターの負担軽減

チャレンジサポーターを支援する立場にあるジョブサポーターの負担軽減にも積極的に取り組んでいます。ジョブサポーターの心身の健康維持ややりがいアップも大きなテーマだからです。例えば、一人あたりの担当人数を減らしたり、単独担当

## TMBS 名古屋支社

「お客様から認められ、お客様を支援する組織」を目指しています。職場見学会も随時開催しています。



## TMBS 大阪支社

グループを支えるべく高い品質・サービスを提供するため、「大阪スローガン」を実施しています。



## TMBS 九州支社

グループの縁の下の力持ちとして、各スタッフの熟練したノウハウを活かし、多種多様なニーズに対応しています。



●  
それぞれの得意分野でイキイキと活躍

チャレンジサポーターが生き活きと主体的に働き続けるための成功循環サイクル



チャレンジサポーターの絵画

アート展の様子



取材は、TMBSの本社のある東京都の丸の内で行われました。

障がいのある人と働くことは、さまざま発見があります。社員の心身に対する気遣いであったり、職場の働き易さについてであったり。ここで得られる知見は、東京海上グループで働く全ての人にとっても役立つものです。私たちは、当社のみならず東京海上グループのさらなる発展のためにも、引き続き奮闘してまいります。

制(チャレンジサポーター5名/ジョブサポーター1名)から複数担当制(チャレンジサポーター10名/15名/ジョブサポーター2/3名)にして、代替性の確保や休暇をとり易い環境を目指しています。

●モチベーションアップ施策  
チャレンジサポーターがよりやる気を高めてくれるための施策もあります。例えば「グッドジョブ賞」と

いう表彰制度を設け、好取組事例を発表・共有しています。こちらは組織の「互いをほめたたえる風土」の構築にもつながっています。また、自分の職場以外を体験できる「社内インターンシップ制度」や「グループ会社への常駐」に加え、本体外向を大阪・名古屋で1名ずつ実現し、チャレンジサポーターの成長に向けた選択肢を増やすことができました。

組織風土について教えてください。

●個性が発揮できる  
チャレンジサポーター一人ひとりがそれぞれの得意分野でイキイキと活躍できるように担当業務を調整しています。「個性を活かして輝く」という面では、過去に絵の得意なチャレンジサポーターの作品を集め、アート展を開催したことがあります。

●コミュニケーションを大事に  
「コミュニケーションを大切にしている組織でありたいと考えています。『ちよい飲み会』という、4〜5人で居酒屋に行つて懇親を図るというイベントが好評です。休み時間には社長室にチャレンジサポーターがやってきて、会話を楽しむこともあります。

御社の今後について教えてください。

東京海上ビジネスサポート株式会社について

- 所在地(本社)：東京都千代田区丸の内 2-2-3 丸の内仲通りビル 4階
- 設立：平成 22 年(2010 年)
- 資本金：1 億円(東京海上ホールディングス(株) 100%出資)
- 従業員数：401 名(2024 年 6 月 1 日時点)  
→うち障がいのある社員：245 名(チャレンジサポーター 244 名)

<https://www.tokiomarine-bs.com/>





## <2025年春 全国公開予定> 映画『星より静かに』

ADHDをテーマとし、就労移行支援事業所を舞台にした  
ドキュメンタリー＋ヒューマンドラマ作品

障がいと共に生きる人々を描く

2024年8月、大分県由布市にて開催された「第49回湯布院映画祭」内の特別上映作品として、『星より静かに』がクロージング上映されました（2025年春、全国劇場公開予定）。この作品はADHD（注意欠如／多動性障がい）を主なテーマにしており、障がいを抱えた人々の生活とそこにある葛藤や苦悩、明日に進む前向きさを描いています。

作品はADHDを抱える夫と彼を支える妻、妻の友人であり障がいのある息子を持つ母親の日々を描くドラマパートと、同じくADHDを抱える当作品の監督である君塚匠さんが自ら出演し、障がいを持つ人々や支援者などと語り合うドキュメントパートからなりまます。ドラマパートで心が動かされ、ドキュメントパートでドラマの背景にある「障がい者を取り巻く実情」を知ることができるという、巧みな構成になっています。

ドキュメントパートの主な舞台になっているのが就労移行支援事業所「にじ鶴見」です。なお、同事業所は君塚監督が以前利用していた、という経緯があります。

あらためてADHDや障がいのある方々について知る、考えるきっかけとなる本作品。特に就労

### 映画『星より静かに』



湯布院映画祭での記者会見

- ◆監督・脚本／君塚匠
- ◆エグゼクティブプロデューサー／森重晃
- ◆プロデューサー／君塚匠 池田恭子
- ◆撮影監督／永石秀行
- ◆録音／樋口昂
- ◆編集／椿茂之
- ◆出演／内浦純一 蜂丸明日香 君塚匠 渡辺真起子 三嶋健太
- ◆ドキュメンタリー協力／就労移行支援事業所 にじ鶴見

公式Instagram：<https://www.instagram.com/hoshiyorishizukani/>



## イコウ -IKOU!

今回、作品の舞台となったにじ鶴見は、過去、私が飛び込みで訪

主な理由です。今、生きづらさを感じている君に観て欲しい

私には55歳の時にADHDと診断されました。もちろん、それ以前からその傾向があり、長年ADHDを抱えながら映像制作などの仕事をしてきました。その中でADHDへの偏見を感じたり、心無い言葉によって傷つけられた経験があります。多くの人にADHDへの理解を深めて欲しい。それも前向きに、その個性や才能などを感じてもらえるように。そして理解者や支援者が増えることで同じ障がいを持つ方々が生きやすくなるように。それがこの作品を撮った主な理由です。

今、生きづらさを感じている君に観て欲しい

私には55歳の時にADHDと診断されました。もちろん、それ以前からその傾向があり、長年ADHDを抱えながら映像制作などの仕事をしてきました。その中でADHDへの偏見を感じたり、心無い言葉によって傷つけられた経験があります。多くの人にADHDへの理解を深めて欲しい。それも前向きに、その個性や才能などを感じてもらえるように。そして理解者や支援者が増えることで同じ障がいを持つ方々が生きやすくなるように。それがこの作品を撮った主な理由です。

今、生きづらさを感じている君に観て欲しい

## 君塚監督インタビュー



映画『星より静かに』監督・脚本・出演

君塚 匠 Takumi Kimizuka

1964年、東京都生まれ。日本大学芸術学部映画学科監督コースを卒業後、テレビ番組の演出を担当。劇場映画『喪の仕事』で、原案・脚本・監督としてデビュー。『ルビーフルーツ』『激しい季節』『おしまいの日』『月』などの劇場映画で脚本・監督を務める。TVディレクターとしてドキュメンタリーや情報番組、ドラマを数多く手がける。CMなどの監督としても幅広く活動。

君塚監督の著書発行のご案内 ※内容は変更になる場合があります

### 『ADHDの映画監督が見つめる虚構と現実-多様性が理解される世界のあり方-(仮)』

A5判/並製/約180頁/予価2,000円(税別) | 著:君塚匠/発行:中央法規出版株式会社

55歳でADHDと診断された君塚匠監督は、人間関係がうまく築けず、人と同じようにできない自分に苦しんできた。本書は、自身も出演した映画『星より静かに』では描かれなかった君塚監督の幼少期からの生きづらさや周囲との軋轢、映画監督・テレビディレクターとしてのキャリア、自分を理解してくれる人々との交流を、時にユーモアを交えて描く。



◆講演依頼受付中▶テーマ例:『映画監督 君塚匠・涙と笑いのADHD人生』お問合せ▶<メール>vez06756@nifty.com <TEL>090-6543-2017

移行支援事業所に通う方にとって身近な内容です。ぜひ、ご覧ください。

### 見どころ①「ADHD」について

ADHDとは、どのような障がいなのか。本人や周囲の人たちは何を感しているのか。ドラマパートでは俳優陣が情緒たつぷりに演じています。さらに、ドキュメントパートでは君塚監督がゆかりのある場所を訪れてさまざまな人と障がいについて意見交換をするのですが、ここでは障がいと障がい者のリアルを知ることが出来ます。

### 見どころ②「にじ鶴見」について

舞台となったにじ鶴見では、代表である脊尾昌壮さんをはじめ、実際の支援員の皆さんも出演。支援に対する想いや実際の取り組みなどが紹介されています。さらに、利用者さんたちも出演。日々の活動やご自身についてお話されています。

実際の事業所が撮影の場となっているので、当事業所の雰囲気を感じることが出来ます。特に、現在就労移行支援事業所の利用を考えている方には、参考になるのではないのでしょうか。作品からも分かる通り、明るく楽しい事業所です。一度足を運んでみてください。

## 就労移行支援事業所『にじ』



### ❖にじ鶴見

〒230-0051

神奈川県横浜市長谷区鶴見中央 4-32-19 鶴見センタービル 3F

E-mail: tsurumi@ni-ji.net TEL: 045-947-2553 http://ni-ji.net



にじ鶴見の皆さん

### ❖にじ中野坂上

〒164-0012 東京都中野区本町 2-45-13 山手ビル 6F

E-mail: info@ni-ji.net TEL: 03-6276-8663

### ❖にじ練馬

〒176-0011 東京都練馬区豊玉上 2-85 第2 矢幸マンション 1F

E-mail: nerima@ni-ji.net TEL: 03-6914-8780

# 第5回折り句コンテスト結果発表

前号で募集をしました第5回折り句コンテストへのご応募、誠に有難うございました。  
ここでは、皆さまの素晴らしい作品の中から、優秀作品5作品を表彰いたします。

折り句コンテスト開催団体



一般社団法人社会福祉支援研究機構

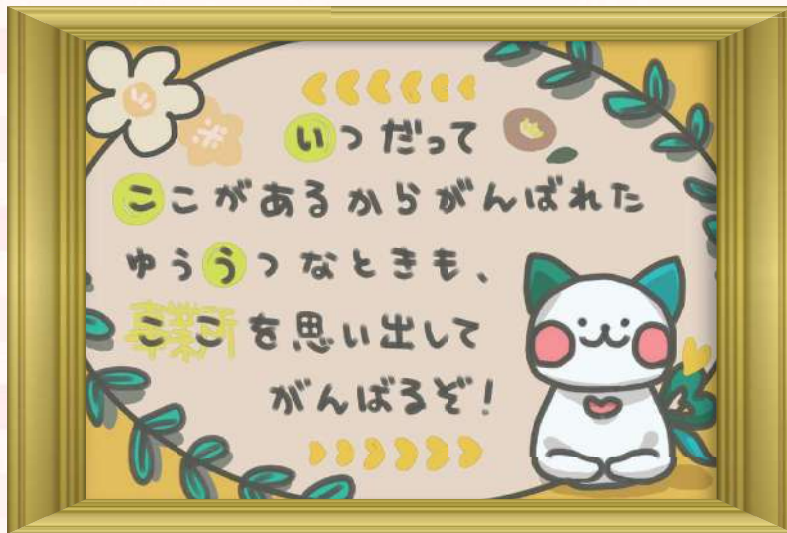
協賛



日本折り句協会

<http://www.oriku.or.jp/>

## 折り句作家 MIKAKO賞



『いこうここ』  
(事業所)

さやかさん

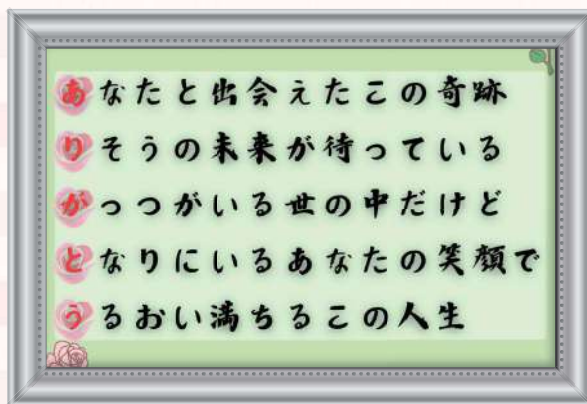
(アフレッシュいわき／福島県)

〈表彰の言葉〉

いくつになっても自分の心の居場所があることはとても大切だと素直に思う気持ちがしっかりと表現されている折り句です。かわいい絵と色彩のバランスも素晴らしく、柔らかさとやさしさを感じられる素敵な作品でした。

## 社会福祉支援研究機構 理事長賞

『ありがとう』



〈表彰の言葉〉

シンプルなデザインの中にしっかりとした気持ちが表わされていました。あなたと出会えた奇跡が人生を潤わせる。最後の『うるおい満ちるこの人生』のフレーズから大切な事を教わった気がしました。

吉祥隆志さん (アスミル大田原／栃木県)

『ともだち』



〈表彰の言葉〉

友達への思いがとても良く表現されていました。色鮮やかな絵も温かい気持ちにさせてくれます。笑う時だけでなく辛い時も分かち合える友達に感謝できる気持ちは、ずっと大事にしたいものですね。

ゆみえさん (バスセンター上大岡プラザ／神奈川県)



## 優秀作品賞

### 『折り句』

ジュオスさん  
(アポーヨ柿田川/静岡県)

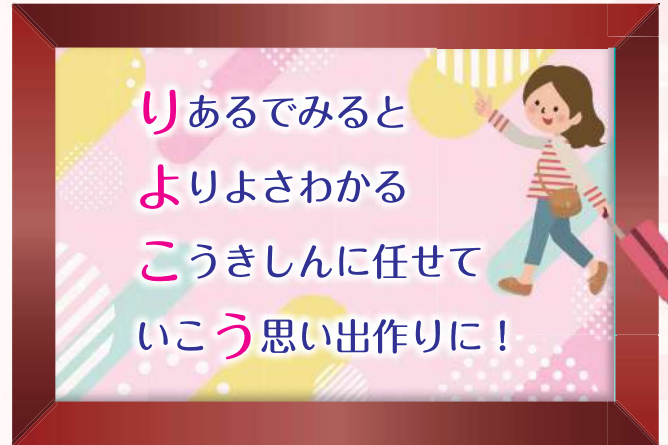


#### 〈表彰の言葉〉

まさに！折り句の魅力と醍醐味を表現してくれました。日本語の紡ぎだす美しさと語感。ここに読み手の想いを乗せれば、唯一無二、最高の作品の出来上がり！

### 『りょうこう』

雲丹さん  
(ア・ドマーニ久喜/埼玉県)



#### 〈表彰の言葉〉

旅行のすべてが詰まった作品です。百聞は一見にしかず。人生に果てしないワクワク感を求めて、人は旅にでかけるのでしょうか。あなたは次にどこに行きますか？

## 第5回『イコウ！春の写真コンテスト』のご案内

日頃通っている事業所やあなたのお住いの街の一コマを全国の方々に写真で紹介してみませんか？

#### ❖テーマ

あなたの通う事業所のある街の一コマ～ココロがときめいた身の回り被写体を切り取ってみてください～

#### ❖募集部門

- ①スマートフォン（スマートフォン、タブレット）部門
- ②デジタルカメラ（一眼レフカメラ、コンパクトカメラ等）部門

#### ❖賞および賞品

- 審査委員長賞（各部門1名）ポイント
  - 社会福祉支援研究機構 理事長賞（各部門1名）
- ※受賞作品に審査委員長からのコメントを添えて、額に入れて進呈いたします。

#### ❖募集期間

2025年3月1日（土）～2025年4月18日（金）16時

#### ❖応募方法

作品に作品名と氏名（ペンネーム可）を添えて、ご契約の就労移行支援事業所（社会福祉支援研究機構加盟）にご提出ください。  
※本誌に掲載させていただく場合は、事前にご連絡いたします。

#### ❖結果発表

イコウ次号＜2025年夏号＞の誌面にて受賞者を発表いたします。

主催：SSO 一般社団法人社会福祉支援研究機構

#### ＜イベントのご案内＞

※スマホでも一眼レフカメラでも参加可

審査委員長・熊切大輔先生による  
「スマホやカメラで楽しむ！写真ポイント講座」

↓前回の開催風景↓



2025年4月3日（木）13:00～13:50

実施方法：ZOOM（ウェビナー使用）

講師：熊切大輔先生

（公益社団法人日本写真家協会（JPS）会長）

※詳細は事業所内掲示のご案内等でご確認ください。

# 就労支援の人

障がい者の就労においては、様々な立場から関わる支援者の存在が欠かせません。ここでは、支援者の方々に「人となり」や「経歴」、「モットー」などを自由に語っていただきます。

横浜市立大学 都市社会文化研究科 教授

## 影山摩子弥先生 Makoya Kageyama

著書

『なぜ障がい者を雇用する中小企業は業績を上げ続けるのか?』（中央法規出版）

『地域 CSR が日本を救う』『世界経済と人間生活の経済学』（敬文堂）

『CSR 経営革新』（共著：中央経済社）

『横浜の産業とマチづくり』（共著：学文社）



## Profile

早稲田大学商学部を卒業後、1989年に横浜市立大学商学部の専任講師に就任。2001年に同大学の教授、2009年に都市社会文化研究科の教授となる。専門は経済原論および経済システム論。CSRや障がい者雇用の研究に取り組む。「横浜型地域貢献企業認定制度」の設計を手掛けるなど、地域活性化にも貢献。

「人への興味」が出发点

私は静岡県浜北市（現浜松市）出身。高校生までを静岡で過ごし、その後早稲田大学に進学。大学は商学部に入学したのですが、アルバイトやハードロック・ヘビメタ系のバンド活動に明け暮れる日々を送っていました。学問ではマーケティングに興味を持ちましたが、今思えば、社会や人間を扱う分野だからであつたと思います。その後大学院に進み、「社会主義論」をテーマにして「良い世界を目指しているのに、なぜ実態ではそのようになれないのか」ということを研究していました。

### CSRや障がい者雇用を研究

大学院の博士後期課程を修了して現職の場でもある横浜市立大学で教鞭をとります。その中でNPOやCSR（企業の社会的責任）の必要性やその経済活動におけるメリットについての研究を始め、様々な企業にヒアリングを行いました。そこでは「CSRとは企業にとって経済的価値を生み出さない慈善活動である」と誤解をしている企業が多くあり、この認識を正さなければならぬと感じました。CSRについては、横浜市立大学CSRセンター（現CSR&サステナビリティセンター）を設立したり、企業コンサルティングに取り組んだり、実務にも深く関わることになりました。

そして、関連して取り組んだ大きなテーマが「障がい者雇用」です。障がい

## 障がい者雇用がイノベーションのカギ

活発な意見が出る組織への変革

い者雇用には経済的側面を含めた大きな意義があり、人材として戦力になります。健常者に勝るスキルのある方がいることに加え、その存在にも価値があるのです。例えば障がい者が安心して働ける組織は、健常者も働きやすいですし、より心遣いができるヒューマンフレンドリーな組織になります。それによって、健常者同士の人間関係が変わり、労働生産性が上がるのです。

### 生産性を上げるために必要なもの

人間関係が労働生産性をアップさせるということについては、アメリカ合衆国シカゴ郊外にあるウエスタン・エレクトロニック社の工場で行われた作業効率に関する一連の実験と調査があります。調査の結果、「労働者の作業能率は、客観的な職場環境よりも職場における個人の人間関係や目標意識に左右される」「仲間意識や集団内の規範が作業効率に影響を与える」という仮説が導き出されました。

先ほども触れましたが、障がい者がこの説のカギを握っていると考えています。労働生産性をアップさせ、企業でイノベーションを起こすのは障がい者の存在だと思えます。1993年頃から続く日本経済の停滞ですが、打破する力を秘めていると感じます。

### 就労を目指す障がいのある方々へ

現在の研究に基づくと、障がい者雇用は健常者の「心理的安全性」を高めます。心理的安全性とは「チーム内の誰に対しても自分の意見や気持ちを安心して伝えられる状態」を指し、これによって多様で忌憚のない意見を聞き出すことができるようになります。これこそが、イノベーションを起こす大きな契機になるのです。

皆さんは、これからの日本経済の復活を支える存在です。現在は障がいのある社員と仕事や労働環境のマッチングを考えたり、合理的配慮にしっかりと対応していくという企業が増えてきています。都市部はもちろん、地方においても同様です。大企業だけでなく、中小企業も「障がい者の戦力化」に向けて働きやすい環境整備を行っています。ぜひ、安心して就労にチャレンジしてみてください。

ただし、企業や職場の見極めが重要です。果たして自分に合っているのか。企業のネームバリューで選ぶケースもあると思いますが、やはり仕事内容や職場の雰囲気を選ぶのが良いと思います。そのためには、実習の制度を積極的に活用するのが良いでしょう。

# SSO 社会福祉支援研究機構ジャーナル

一般社団法人社会福祉支援研究機構HP : <http://social-so.net/>



## 最新の取組みのご報告

### 1. 当機構向け「オンライン会社説明会」開催

今後も続々開催予定

- ①2月7日、(株)かんでんエルハート様
- ②1月15日、(株)SHIFT様
- ③2024年12月20日、ポルトウウィン(株)様



当機構では、定期的に障がい者雇用を推進している企業様の「オンライン会社説明会」を実施しています。障がい者雇用や雇用する企業について知る、とてもよい機会になりました。

### 2. 「第10期 当機構総会」開催

これまでを振り返り、これからをワクワクしながら展望

1月9日、当機構の第10期総会を開催しました。総会の冒頭では昨年に引き続き、前参議院議長の山東昭子先生よりお話を頂きました。福祉の現場で働く一人ひとりの思いや行動がやがて大きな力になる、と日々現場で奮闘する支援員へ暖かいエールを送っていただきました。



総会に続き、埼玉県立大学名誉教授 朝日雅也先生の基調講演がありました。「本人中心の支援を考える」というタイトルで、支援にあたって大事にすべき点についてお話をいただきました。支援者として何をすべきか、どうあるべきか、振り返る良い機会になりました。



総会終了後は懇親会を行いました。全国から集まった仲間と情報交換や交流を持つ良い時間となりました。



### 3. 繋がってるよ!笑顔になろうよ! PJ

ZOOM で全国をつなぐオンラインプログラム

<第65弾>元気が出る!プロレス式トレーニング

<第66弾>「折り句」の書き方講座

<第67弾>人生好転セミナー



### 4. SSOピックアップインフォメーション

加盟事業所の取組みをご紹介します

#### ①テイクハートグループ総会

2024年12月20日東京都・千葉県・茨城県で7事業所を運営するテイクハートグループで社員総会が行われました。当日は職員表彰や来期に向けた戦略の発表などがあり、新たな期に向けてグループ一同が結束する場となりました。



#### ②就労移行をテーマにした舞台上演

フィン藤崎(福岡市)の支援員、北島タツロウさん脚本・演出の舞台が2024年11月に上演されました。こちらは就労移行をテーマにしたもので、当日はフィンの利用者さんも観劇に行き、とても温かい作品に皆さん感動されていました。



#### ③ルミノーズチャンネルに佐野理事長が登場

東京都・川崎市で4事業所を運営するルミノーズではyoutube「ルミノーズチャンネル」で毎週情報を発信しています。なお、2025年1月には佐野理事長が登場しました。

## 全国の加盟事業所

2024年10月1日現在 **88** 事業所



### ❖題字の作者



1981年山口県岩国市生まれ。18歳の時イギリスに短期留学。路上アーティストに感銘を受け「どこかで誰かの力になりたい」と思い、OLのかたわら活動を続け25歳で出版を機に独立。その後、東京に拠点を移し、ニッポン放送出演やラジオパーソナリティーなどを務め、気持ち伝わる筆ペン講座や講演活動を行い、活動の場を広げている。2011年より全国1万人折り句キャラバン〜10代のみなどと折り句でありがとうを伝えよう〜をスタート。

MIKAKO ポエムピクチャーアーティスト / 折り句作家

### ❖誌名『イコウ』について

本誌名『イコウ』には、就労移行支援事業所の「移行」やポジティブかつアクティブな「行こう!」というフレーズからのイメージに加え、読者の皆さまがほっと一息つくことのできる「憩う」タイミングで読んで欲しいという想いが込められています。ぜひ、末永くご愛読いただければ幸いです。



## 機構加盟の就労移行支援事業所の利用者さんの作品を募集しています

『イコウ』では、皆さまからの次のような作品を募集しています。

写真（スマートフォンでの撮影可） / イラスト（手書き・グラフィックデータ問わず） / 川柳 / 俳句 / 短歌 など

ご応募いただいた作品は、本誌表紙や誌面上でご紹介いたします。

※ご応募作品数によっては、掲載できない場合もございます。作品はイコウ編集部のメールアドレスまで「データ形式で」お送りください。  
※作品には作者名（ペンネーム可）を添えてご応募ください。就労移行支援事業所による利用者作品の一括応募も可です。

### ❖イコウ-IKOU!- 編集部のご案内❖

❖社会福祉支援研究所株式会社内イコウ編集部 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場1-4-21 サンパーク高田馬場109❖  
発行人：佐野敏夫 / 副発行人：両角康史 / 編集長：大槻一敬 / 副編集長：古澤和也  
TEL：050-5437-2755 / E-MAIL：hensyuubu@social-so.net

## 社会福祉支援研究機構の目指す「就労移行支援」

①一人でも多くの“一般就労”を実現

②最適、最短の長期の“一般就労”を実現

③“一般就労”実現の輪を全国に

**就職実績累計**  
令和6年3月31日時点  
**3,830名就職**

## 資格合格実績累計

令和6年6月30日時点

**13,750名合格**

## 目指せる資格は70種類以上 ＜目指せる資格一例＞

- ❖P検(ICTプロフィエンス検定協会)❖ ❖ビジネス務務基礎★
- ❖ビジネスプレゼンテーション基礎★ ❖メンタルヘルス基礎★
- ❖パーソナルカラーリスト検定 ❖ビジネス実務マナー3級❖
- ❖秘書検定❖ ❖サービス接客検定❖
- ❖ビジネス文書検定❖ ❖ビジネス実務法務検定試験
- ❖色彩検定3級❖ ❖コミュニケーションリーダー2級★
- ❖ピアカウンセラー★ ❖コミュニケーション基礎★
- ❖高等学校卒業程度認定試験(高卒認定試験)
- ❖ナラティブメディエーター講座
- ★…試験免除プログラム対象資格 ❖…事業所内受験対象資格



一般社団法人  
社会福祉支援研究機構

<https://social-so.net/>

